

科目名	演劇史2						年度	2025	
英語科目名	History of Drama and Theatre						学期	後期	
学科・学年	演劇スタッフ科 1年次	必/選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	山下 悟		教員の実務経験		有	実務経験の職種		演出家	
【科目の目的】 演劇がどのように成り立ち、現代にまで導かれているかを考察し、演劇の歴史の流れを学ぶ 演劇の歴史を理解することにより、より視野を広げ、より深く演劇の業界に携わることができることを 目的とする									
【科目の概要】 世界の演劇史を学ぶ									
【到達目標】 世界の演劇史を学ぶことを通して、更に演劇に対する視野を広げる。 海外の作品についての理解も深める。									
【授業の注意点】									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ギリシャ演劇 について 理解でき、大変 興味を持つことが できた		ギリシャ演劇 について 理解できた		ギリシャ演劇 について 理解できていない				
到達目標 B	ローマの演劇と キリスト教の 関係について 興味を持ち 理解できた		ローマの演劇と キリスト教の 関係について 興味を持った		ローマの演劇と キリスト教の 関係について 理解不足である				
到達目標 C	1600年代の 代表的なフランスの 劇作家を覚えた 作品も知っている		1600年代の 代表的なフランスの 劇作家を覚えた		1600年代の 代表的なフランスの 劇作家を 復習しなければ わからない				
到達目標 D	1800年代の 代表的な 劇作家と作品名を 覚えた		1800年代の 代表的な 劇作家を 覚えた		1800年代の 代表的な 劇作家は 覚えていない				
到達目標 E	世界の演劇を 学び、知識が 深まり、自分でも 勉強する 意欲がわいた		世界の演劇を 学び、知識が 深まった		世界の演劇に ついての理解が 不足している				
【教科書】 資料を配布する									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 授業態度 レポート課題									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		演劇史2			年度	2025
英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	後期授業と古代ギリシャ演劇について	後期授業と古代ギリシャ演劇について	後期の授業	後期の授業について		
			古代ギリシャ	古代ギリシャの劇場		
			ギリシャ劇	ギリシャ悲劇・ギリシャ喜劇		
2	ローマの演劇	ローマの演劇について	ローマの演劇	ローマの演劇について		
			ローマの演劇	ローマの劇場について		
3	ローマの演劇とキリスト教	ローマの演劇とキリスト教	ローマの演劇	ローマの演劇の復習		
			コロッセオ	キリスト教信者について		
			ローマ帝国	ローマ帝国崩壊とキリスト教による上演について		
4	聖書と演劇	聖書と演劇について	典礼劇	キリスト教と演劇		
			聖史劇	キリスト受難劇について		
			質疑応答	振り返り		
5	ルネッサンス時代の演劇	ルネッサンス時代の演劇について	フランス	宗教劇について		
			イギリス	宗教劇の規制について		
			演劇	ヨーロッパの演劇の変化		
6	英国エリザベス朝演劇	英国エリザベス朝演劇について	シェークスピア	シェークスピアについて		
			グローブ座	劇場・劇団について		
			他の作家	クリストファ・マーロウ、ベン・ジョンソンなど		
7	イタリアの劇場	イタリアの劇場について	古典的劇場建築	古典的劇場建築について		
			透視図法絵画	透視図法絵画について		
			オペラ	オペラの誕生		
8	イタリアとフランスの演劇	イタリアとフランスの演劇について	イタリア即興劇	即興技術の喜劇		
			フランス演劇改革	ネオ・クラシカル		
			悲劇	悲劇・喜劇の基準		
9	産業革命時代の劇作家	産業革命時代の劇作家について	チャーホフ	ロシアの劇作家について		
			スタニスラフスキー	ロシアの演出家について		
			イブセン	ノルウェーの劇作家について		
10	表現主義	表現主義	アドルフ・アッピア	舞台照明家		
			「夢の劇」	「夢の劇」について		
			ユージン・オニール	劇作家と代表的作品について		
11	叙事詩的演劇	叙事詩的演劇について	ベルトルト・ブレヒト	作品について		
			モスクワ芸術座	アメリカの演技法の影響		
12	戦後のアメリカの演劇	戦後のアメリカの演劇について	アメリカの劇作家	アーサー・ミラー / テネシーウィリアムズ		
			作品について	代表的作品について		
			現代	現代の演劇とのつながり		
13	世界の歴史と演劇まとめ	世界の歴史と演劇まとめ	後期の授業	後期の授業のまとめ		
			質疑応答			
			ミニテスト・説明	ミニテストで振り返り		
14	レポート課題	レポート課題	レポート課題	レポート課題提出		
15	総まとめ	総まとめ	前後期の授業	前後期の授業の振り返り		
			質疑応答			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等